

千小スマイルガーデン

千福が丘小学校
学校運営協議会
第12号
2025.12.26



日頃より、本校の教育活動ならびにコミュニティ・スクールの取り組みに、温かいご支援とご協力をいただきありがとうございます。2学期は行事や学習も多く、子どもたちの笑顔と成長をたくさん感じることができた学期でした。学校・家庭・地域が手を取り合い支える活動は、日々の子どもたちの成長につながっています。

1・2年生 おいも作り

大切に育ててきたさつまいも。いよいよ収穫の時期がやってきました！土の感触と匂いを肌で感じながら、子どもたちは自らの手で立派なさつまいもを掘り出しました。みんなの歓声と笑顔があふれる楽しい時間となりました。



4年生 花壇の植え替え

4年生は「緑の少年団」。花壇の花の植え替えを行いました。季節の移り変わりを感じられるよう、色とりどりの花を植えています。毎日少しづつ表情を変えながら元気に育っています。千小の玄関を彩る花壇。そばを通る際には、ぜひ目を向けてみてください。



3・4年生 書き初め

3年生は多目的室、4年生は体育館に長い半紙を広げ、書き初めの授業を行いました。9名のボランティアの方々にアドバイスをいただきながら、一画一画、筆運びに気を配り思いを込めて書き上げました。



5・6年生 家庭科

糸のかけ方から、針の位置、縫い始まりから終わりまで、ミシンを使う授業は細かく、特に人手を必要とします。ボランティアの皆さん、子どもたち一人一人のペースに合わせて補助をしてくださっています。



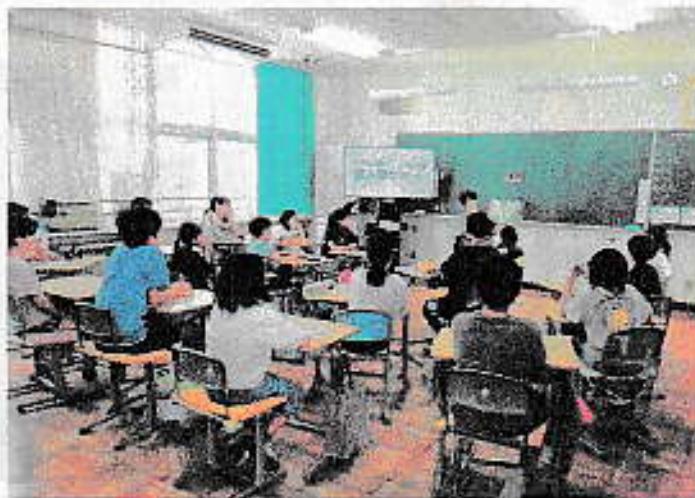


毎年恒例のお飾り作り。子どもたちは、受け継がれてきた日本の伝統文化を知り、一つ一つ心を込めてお飾りを作り上げました。活動を通して、ものづくりの楽しさだけでなく、地域の温かさや人とのつながりを感じることができたのではないかでしょうか。



読み聞かせ

ボランティアの方や担任による読み聞かせが行われました。語りかけるようなやさしい声に耳をかたむけ、お話を通して想像力をふくらませたり、感じたことを言葉にしたりと、豊かな心を育む大事な時間です。



学校運営協議会

第2回目の学校運営協議会が9月18日（水）に開催されました。各学年の普段の様子を参観したのち、子どもたちの様子や今後のコミュニティ・スクールの取り組みについて以下のような意見が出ました。

- ・算数は学校で習うだけだと、「何のためにやっているのかな」となる。でも実生活に置き換えると、算数を学習する意味が分かってくる。千福が丘内の店が減り、子どもが買い物をする機会が少なくなっている。実生活で活用する場面も減っている。
- ・「授業がよく分かる」と「授業以外での勉強時間」に相関関係があるのは明らかだが、年々その習慣は薄れている。夏休みの宿題も減っている。子どもが学習するには、大人と一緒に勉強し、その姿勢を見せないと子どもの学習習慣は身につかないのではないかと思う。
- ・来年度以降、新1年生の数も1桁に近くなりそう。人数が少ない中、競争心をはぐくむのはなかなか難しい。将来、競争社会に出たときに頑張っていけるか。
- ・人間が少ないからか、男女の仲が良い。6年間一緒に過ごすからこそ。
- ・教師の目が届いていることもあって、どの学年も集中して授業に取り組んでいる。
- ・地域住民を巻き込んだ運動会を考えていく必要があるかもしれない。意識して人が集まる催しがないと住民はなかなか集まらない。運動会をそういう場にしてもらいたい。

～次回の学校運営協議会は2月18日（水）を予定しています～